

# 事業計画書の重要性

事業計画書は経営計画書のことで、

必要性があるのは、自分たちが考えるイメージ（構想）を、まず具体的に見えるものにするにありま。このことで考えがより具体的に再認識が出来ます。

毎日が日々のやるべきことや、やったほうがいいことに忙殺

され、自分たちがやるべきことが何なのかわからなくなりま。したがって問題点や課題が明確になり、事業計画書で気が付くチェックリストになります。即ち、事業計画書は自分自身のためにあるシナリオなので

計画書ですから状況の変化や、やってみないとわからないことがあります。そのときに計画書の狂いを認識できま。何が計画のとおりで、何が計画と違ったのか、軌道修正が出来ま。実際に完璧なプランなど最初から立てられるものはありません。作成と修正作業を繰り返して、事業計画書をより現実的なものにしていくのです。

(有)西川経営オフィスサービス

中村会計

## 事務所便り

2010年6月14日(月) NO 119

地域から明るい未来を作ろう

会社は各人が一丸となり、自分たちの将来像を見えるようにしていくことです。会社と自分の将来へのこだわりが、組織の成長を支える図式が最適です。これにはビジョンの

「共有」が大きな力を持ちま。事業計画書の作成で、自身を見つめ直す絶好の機会になります。

「やりたいこと」「できること」「してほしい」ともめられること」が一致する。この3点の適合性が、会社と自分たち将来の正否判断の基準

問題の出来事の原因は、すべて自分自身にあります。うまくいかないのはすべて内にあります。

どんな人でも内に問題を抱えて生きているものです。

問題が起きるといふことは、純粋でないことの現れといえます。すなわち自分の中に不純物があることといふこ

になります。

事業計画書はまず自分で作成することがポイントです。

事業計画書は、会社の前3期の売上高と原価、売上総利益、販売費及び一般管理費、(人件費) (減価償却費) (その他経費) 営業利益、営業外収益、営業外費用、経常利益、純利益等を当期と翌期、翌々期の3期を対比するものです。当然に金額の各%を出し対比して作成ま。

(なお詳しいことは担当者までお問い合わせ下さい。)

とです。まずはそれをリセットする、浄化することです。問題が起きるとどうして他人のせいにする人が多

いものです。

私たちは失って初めて気づき、知ることが多くあるものですが、他人のせい

する人は、失ったことすら気がつかないのが普通です。

みんなが賛成した意見は正しいと思いがち

ですが、それは人間の「同調」によるものです。

マジョリテイ(大勢)が現在を作り、マイノリティ(少数)が未来を作るので

与えられた仕事を命じられたまま  
トレースするのでなく、自分の持つ  
知識・能力・技術・アイデアをプラスし  
自分の足跡を残せ。

井植歳男